

工程内搬送など自動化

共栄製作所 第3工場 来月稼働

【相模原】共栄製作所(神奈川県秦野市、飯尾聡介社長、04633・81・4347)は、本社工場敷地内に第3工場棟を新設し2021年1月に稼働する。同社は建設機械や工作機械、鉄道車両などで使う大型軸受用ころの専門メーカー。既存施設が手狭になり増強を決めた。投資額は約3億3000万円。工程内搬送などを自動化し生産効率や品質を高めるほか、新棟稼働に合わせて本社工場のレイアウトを刷新する。



新設した第3工場棟

第3工場棟は2階建てで建物面積は約960平方メートル。1階は生産拠点で、第1工場棟から外観検査機を移設、2階は事務スペースで食堂を設置。以前の食堂は更衣室を増設。本社工場内では多軸ロボットを複数台導入し、加工対象物(ワーク)の移動の省人化を進めている。第3工場棟でも工程ごとに自動化を検討するほか、将来は品質を高めるため、各種データを収集・分析するIoT(モノ)の開発を進めている。

北海道経済産業局が1年をかけて取材・制作した冊子「北のアトツギStory」が話題を集めている。道内中小企業の深刻な後継者不足に対して「まず多くのデータや事例をオープンにしよう」(産業部経営支援課の東間達也氏)と、道内各地に足を運んで1冊にまとめた労作だ。

(札幌・市川徹)

工事不要・組み立て容易

菱熱工業 大型換気装置引き合い増



引き合いが増えている「A-サイクル」

菱熱工業(東京都大田区、近藤貴社長、03・3778・2111)は、6月の発売以降、感染症対策に役立つとして「A-サイクル」の引き合いが増加している。新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言を受け、工事なしで誰でも設置の際に配線接続が壁への穴あけは不要

で、組み立て時間は約1-1.5時間。同社では「工事会社だからこそ工事レスの製品が実現できた」(マーケティングドメイン永井孝昌マネージャー)という。

給気・排気は機械換気で強制的に行うため、確実に安定した換気により感染リスクを低減する。全熱交換器を備え、室内の温度変化も抑える。床設置型と壁設置型の2種を用意し、年間1000台の販売を目指す。

AIで入退室管理・記録

アルファテック AIがシステム 体温計測機能も



アルファテック(東京都中央区、高木俊郎社長、03・3527・9026)は、人工知能(AI)を用いた入退室管理システム「電照合し、入退室を管理

記録する。新型コロナウイルス感染症対策で体温の計測、手指の消毒機能も搭載。価格は20万円(消費税抜き)。工場の入出口や玄関に設置する。登録人数は200人までで、個人を瞬時に判別して入退室を記録する。

入退室の管理や記録は同社の図面管理や生産管理ソフトと情報連携を訴求する。

規模は約5000万円相当。

中小向け商品アイデア発表会

んぽ